

ウミスズメ

チドリ目ウミスズメ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

Synthliboramphus antiquus (Gmelin)

国カテゴリー 絶滅危惧 I A類

選定理由

かつては冬期沿岸海上に多数見られたが、近年減少が著しい。

形態

全長約25cm。小型の海鳥で、雌雄同色。頭部、上面は黒く、首、胸、下面は白。

国内分布

北海道、東北地方の島嶼で少数の繁殖が知られる。冬期は北太平洋から渡来するものが多く、北海道、本州、九州北部沿岸で多数が越冬する。

県内分布

冬期、県内海上に広く分布する。ナホトカ号重油流出事故では加賀市から羽咋市までの海岸で回収されたものが多く、能登半島では少なかった。

生態

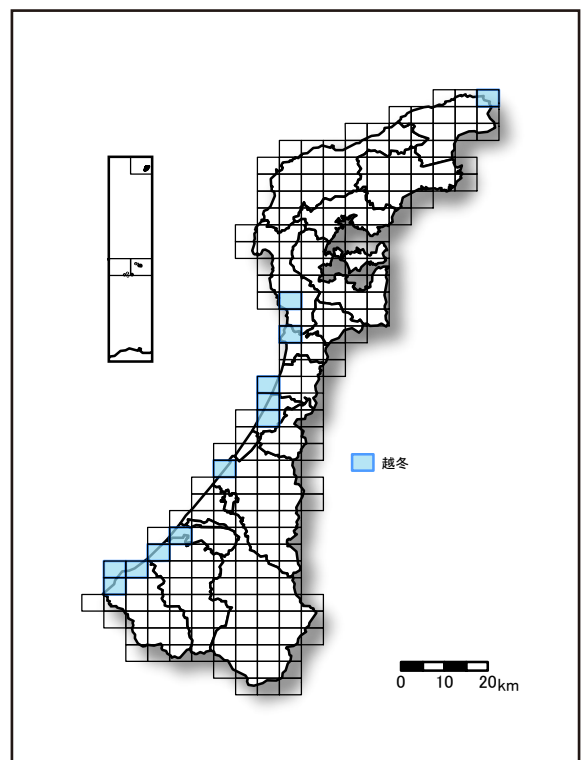
繁殖生態はカムリウミスズメとほぼ同じ。冬期は海上で数羽から数十羽の群れで生活し、潜水して小魚などを追う。

生息地の条件

沿岸海上に越冬するが、内湾ではほとんど見られない。

生存の危機

定置網、刺し網など漁業による混獲。重油流出などによる海洋汚染。(A)



県内の分布